

# 旧環境センター解体・撤去工事住民説明会

## 主な質問と回答

日時:2月18日19時~20時30分

場所:龍田公民館

出席者:まちづくり課

自治会(松ヶ下、柳、松田、平方)

No.	質問	回答
1	工事説明会の対象範囲が、旧環境センター近隣地域を(松田、平方、柳、松ヶ下)対象としているが、町内全域を対象とした工事説明会を実施しないのか。	コロナ禍という事もあり、説明会の対象範囲、人数を制限しています。 このため、説明会の内容等はHP等で周知します。
2	旧環境センターは稼働停止してから25年が経過するが、なぜ、もっと早い段階で解体しなかったのか。	これまで、補助金等を活用した解体・撤去工事を模索してきたが、補助要件を満たすものがなかった。この度、起債事業を活用して解体・撤去工事が可能となったため着手するものです。
3	解体・撤去工事に伴い、多くの大型トラックが公園前の道路を通行するが、公園利用者も多く利用するため、安全確保の観点から公園利用者数に制限をかける等の予定はあるのか。	公園利用者への安全確保のため、旧環境センターから佐用岡交差点までの間に交通誘導員を3人配置し安全確保に努めます。また、公園利用者の多い土曜日は、大型トラックの搬出作業は行いません。なお、日曜日、祝日は休工日ですので搬出作業はありません。
4	アスベスト、ダイオキシン類等の汚染物質が運搬時に飛散することはないのか。	汚染された廃棄物は、密閉容器に入れて運搬しますので、飛散することはありません。

No.	質 問	回 答
5	解体・撤去後、跡地を良質土にて埋め戻しアスファルト舗装をするとの説明があるが、将来の跡地利用を考えれば、舗装する前に汚染物質がないか調査する必要があると考える。	跡地利用については、市街化調整区域ということもあり資材置き場程度としか考えていません。また、現状と同様に第3者が自由に立ち入ることができない土地であるため、土壌調査までの計画はありません。
6	アスベストの量はどのくらいあるのか。	以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上防水 253m<sup>2</sup></li> <li>・内装材 床 Pタイル 23m<sup>2</sup></li> <li>・内装材 壁 フレキシブル板 38m<sup>2</sup></li> <li>・ダクトパッキン 45個。</li> </ul>
7	除染作業に使用する水は循環させて使用するとの説明があったが、水はどこから持ってくるのか。	除染作業に使用する水は、建物の地下に溜まった滞留水を敷地内に設置した水処理プラントで処理しながら使用します。また、水道水は、建屋の解体・撤去工事の際に粉塵抑制のための散水に使用します。
8	環境調査はどのくらいの頻度で行うのか。	周辺環境調査として、大気、標準土、騒音・振動、環境を調査します。調査頻度は、各項目によっても異なりますが、工事前、工事中（2回）、工事完了後に測定します。
9	情報公開について説明があったが、事前に調査した結果は全て公表するのか。	ダイオキシン類など、有害物質については事前調査を実施していますのでホームページ等で公表します。

No.	質 問	回 答
10	<p>工事中に実施する環境調査の結果はホームページ等で公表するとのことであるが、いつ公表されるのか。</p>	<p>基本的には、毎月末に工事の進捗状況に合わせて報告します。</p>
11	<p>解体・撤去工事に伴い、コンクリート殻等がダンプトラック等で搬出されるが、過積載対策はどのように行うのか。</p>	<p>過積載にならないように、自重計等を活用しながら管理します。</p>
12	<p>旧環境センター前にある柳池の水質、底質調査を実施すべきではないか。</p>	<p>平成 15 年に柳池の水質と底質を調査した結果、環境基準値以下であった。また、建物地下の灰ピット等の滞留水も環境基準以下であるため、調査する予定はありません。</p>
13	<p>ダイオキシン類が解体・撤去工事に伴って飛散したがどうか確認するために、建物周辺 4 カ所に汚染されていない土（標準土）を置くとの説明であったが、サンプリングの深さは何 c m か。</p>	<p>標準土のサンプリングは、1 地点につき 5 カ所、表面から 5 cm の深さで採取し混合したもの 1 検体とします。（ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアルに基づいた方法です。）</p>